

環境活動レポート

(エコアクション21)

平成27年度版

株式会社 サンエイ

作成日	平成21年10月 1日	改訂内容
改訂日	平成27年 3月12日	P3 ①のe)の項目を追加
改訂日	平成28年 3月9日	P4-5)事業規模・6)保有設備
確認日	平成28年 3月31日	

(実施期間 27年3月～28年2月)

承認	作成
北 村	鈴木

目 次

1 環境方針	2
2 環境組織図	3
3 事業活動の概要	4
1) 事業社名及び代表者名	4
2) 所在地	4
3) 環境管理責任者及び連絡先	4
4) 事業内容	4
5) 事業規模	4
6) 保有設備	4
4 環境目標とその実績	5
5 環境活動計画	6
6 環境への取組み結果の評価	7・8
7 環境関連法規制等の遵守の確認	8
8 代表者による評価と見直し結果	9

環 境 方 針

「基本理念」

環境汚染の予防と環境保全継続的改善により、地球温暖化の防止と循環型社会の形成をめざす。

環境に配慮して行動をする。

「基本方針」

この理念のもと、プラスチックフィルムの加工会社として日々の事業活動が環境に与える負荷を考慮し、以下の環境保全活動を推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行なう。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営と環境保全実績が継続的に改善できるように推進する。
3. 次の項目を環境保全の重要項目として、環境目標を設定し、必要があれば、見直すなどの効果的な取り組みを行なう。
 - ①省資源、省エネルギーの推進による二酸化炭素排出量抑制
 - ②廃棄物の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④環境関連法の遵守
 - ⑤事務用品のグリーン購入を実施
 - ⑥溶剤などの化学物質使用量の把握
 - ⑦環境に配慮した製品造り
4. この環境方針を達成するために、教育・訓練の実施、内部コミュニケーションの活性化により、環境保全活動に関する意識をたかめる。

作成日	平成21年10月 1日
改訂日	平成23年 4月 1日

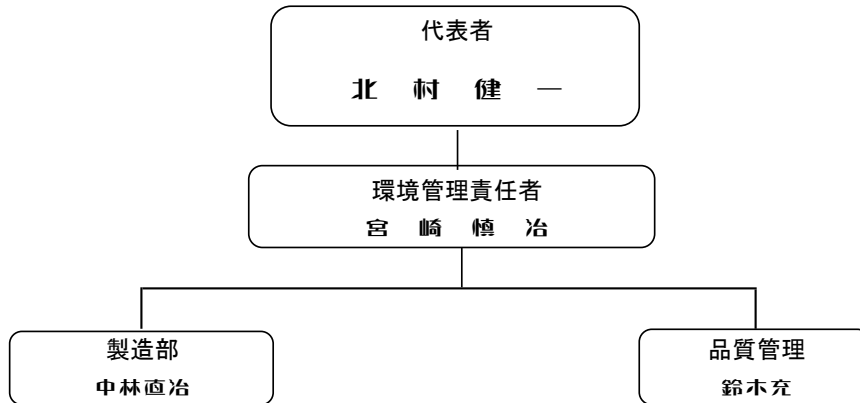
株式会社 サンエイ

代表取締役

北 村 健 一

作成日	平成21年10月 1日
改訂日	平成27年 3月12日

【環境組織図】



①代表者

- a) 環境方針を定め、誓約する。
- b) 環境への取り組みに必要な資源(人・もの・金)を適切に準備する。
- c) エコアクション21全体の取組状況を評価し全般的な見直しを実施する。
- d) 環境経営を、エコアクション21の要求事項に基づいて構築し運用する。
- e) 環境管理責任者の任命。

②環境管理責任者

- a) 環境経営をエコアクション21の要求事項に基づいて構築運用し、社内に環境経営を推進する。

③品質管理

- a) 部門が取り組むべき事項「廃棄物のリサイクル・節水・節電」での取り組みと、手順書に基づく日々の取組活動推進。

④製造部

- a) 部門が取り組むべき事項「電気使用量の削減・廃棄物の削減・節水・緊急事態への対応」での取り組み及び教育と、手順書に基づく日々の取組む活動。

3. 事業活動の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 サンエイ
代表取締役 北村健一

2) 所在地

東京都墨田区墨田2丁目6番地2号

3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者： 宮崎 慎治
電 話： 03-3610-1951
F A X： 03-3610-1952
E-mail： s.miyazaki@kk-sanei-seal.co.jp

4) 事業内容

プラスチックフィルム等の打ち抜き、カット
各種シール材、OA機器、通信機器部品の製造

5) 事業規模

法人設立年月日： 昭和 59年 9月 30日
資本金： 1000 万円
主要製品出荷額： 29855 万円(平成20年度)
主要製品出荷額： 31927 万円(平成21年度)
主要製品出荷額： 29736 万円(平成22年度)
従業員数： 21 人(平成28年3月現在：パート含む)
敷地面積： 148.77 m²(床面積545.86m²)

6) 保有設備

機械名	台数	機械名	台数
スーパーカッター	2		
連続打抜機PAL	2		
三軸制御式自動打抜機	1		
連続ハーフプレス(2.2kw)	1		
トリミングプレス(2.2kw)	1		
トリミングプレス(1.5kw)	1		
トリミングプレス(0.75kw)	2		
改訂日	平成28年3月9日		

4. 環境目標

環境目標は2009年度(2009年3月～2010年2月)を基準年度とした環境負荷の実績を年度基準として中期目標を設定、毎年1%削減を目標としました。

二酸化炭素売上原単位で二酸化炭素排出量に対しての売上高の管理を行います。

(百万あたりのCO2発生値)

年度目標	2009年度実績 基準年度	2015年度実績 削減目標(1%)	2016年度実績 削減目標(1%)	2017年度実績 削減目標(1%)	削
二酸化炭素排出量 (kg・CO2)	37,963	35740	35,512	34,953	
廃棄物排出量 (t)	62.3	58.5	58.5	57.3	
水使用量 (m ³)	816	771	763	751	

1) 二酸化炭素排出量は、電気使用量(0.378kg-CO₂/kWh)、ガソリン使用量(2.322kg-CO₂/L)、都市ガス使用量(2.108kg-CO₂/m³)から算出される二酸化炭素の合計としました。

2) 二酸化炭素売上高原単位は年間売上に対して二酸化炭素排出量の使用量を出した数値を前年度の実績との比較を年度末に行います。

3) 廃棄物排出量は、加工端材として多量に排出される廃プラスチックの削減を主眼に設定し、一般廃棄物に関しては基準年データがなく微量なため今回の集計には加算しないことにしました。

4) 水使用量は上水使用のみで生活用水としてそのまま下水道へ排水されます。

5. 環境活動計画

環境目標	活動計画	取組内容
1) 二酸化炭素排出量の削減 電気使用量の削減 ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯の徹底、節電ステッカ貼付 空調の設定温度 冷房時28°C、暖房時20°C パソコン等OA機器の不使用时電源OFF アイドリングストップの励行 エコドライブの徹底、低速走行の励行、急発進の中止 エアコンの設定温度 冷房時28°C、暖房時20°C 	<ul style="list-style-type: none"> 昼休み、帰宅時の電気の消灯 節電ステッカ貼り付け済み 空調温度設定の実施 昼休み、帰宅時の電気の消灯 アイドリングストップの実施 エコドライブの実施 エアコン温度設定の実施
2) 廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチックの分別・資源化 加工残プラスチック端材のリサイクル化（端材の再利用の活用する） 包装資材のリサイクル（入荷した箱・梱包材の再利用をする） 	<ul style="list-style-type: none"> 産廃とリサイクルの分別 端材をなるべく使用する 梱包材、箱を再利用する
3) 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水ステッカを洗面所等に貼付 こまめな止水 節水こま装着を水洗に設置 	<ul style="list-style-type: none"> 節水ステッカ貼り付け済み ステッカによる呼び掛けの実施 節水こまの装着済
4) 環境関連法規制の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 家電リサイクル パソコン、エアコン、冷蔵庫 マニフェストの管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、エアコン、冷蔵庫のリサイクル化 マニフェストの5年間保管 報告書の提出
5) グリーン商品購入	<ul style="list-style-type: none"> グリーン商品の購入（エコマーク品の購入100%を実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 文具品、トイレトペーパーのエコマーク品の購入
6) 化学物質	<ul style="list-style-type: none"> 溶剤等の購入量の把握を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> トルエン・メチルアルコールの購入量の把握
7) サービス提供	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した材料を使用した製品造り 	<ul style="list-style-type: none"> RoHS等の材料の購入 材料証明書の管理

6. 環境への取組結果の評価

実施期間12ヶ月比較		2015年度目標	2015年度実施結果 (2015/3~2016/2)	増減 (%)	評価 ○×
二酸化炭素排出量 KgCO2		35740	38122	6.66%	×
総 エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電気使用量 (kWh)	50556	59934	18.55%	×
	ガソリン使用量 (ℓ)	6205	5681	-8.44%	○
廃棄物等総排出量(m ³)		58.5	42.3	-27.69%	○
水使用量(m ³)		771	853	10.64%	×

二酸化炭素売上高原単位

実施期間12ヶ月比較	2014年度	2015年度実施結果	増減	評価
二酸化炭素売上高原単位 (kg-co2/百万円)	124	108	-12.90%	○

・年間の売上高に対しての二酸化炭素排出量は前年と比較すると12.9%削減しました。

環境目標	取組内容	評価	取組み評価
1) 二酸化炭素排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 電気・ガソリン使用量の削減による排出量の削減 	×	達成出来ませんでした
	(二酸化炭素排出量に対して売上高の管理)	(-12.9%○)	(前年より12.9%削減)
電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯の徹底、節電ステッカー貼付 空調の設定温度 冷房時28°C、暖房時20°C パソコン等OA機器の不使用时電源OFF 	×	設備投資による機械導入で注文が増え、休日の稼働率が大幅にアップしました
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップの励行 エコドライブの徹底、低速走行の励行、急発進の中止 エアコンの設定温度 冷房時28°C、暖房時20°C 	○	H27年12月に新車の導入による低燃費、車の使用が若干減りました エコドライブの実施(アイドリングストップ)
2) 廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチックの分別・資源化 加工残プラスチック端材のリサイクル化(端材の再利用の活用する) 包装資材のリサイクル(入荷した箱・梱包材の再利用をする) 	○	端材の使用、梱包材の再利用等による活動で削減が出来ました
3) 水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 節水ステッカーを洗面所等に貼付 こまめな止水 節水こま装着を水洗に設置 	×	トイレ使用時の流す水の量の低減が難しい(男性)
		10.64%増	

4) 環境関連の遵守	・家電リサイクル ・マニフェストの管理	○	パソコン、エアコン、冷蔵庫のリサイクルは有りません ファイルに管理しています
5) グリーン商品購入	・グリーン商品の購入 (エコマーク品の購入100%を実施)	○	文具品、ペーパー等の エコマーク品を100%購入
6) 化学物質	・溶剤等の購入量の把握を行います。 トルエン・メチルアルコールの年間購入量	○	トルエン 計32L購入 メチルアルコール 計32L 購入
7) サービス提供	・環境に配慮した材料を使用した製品造り ・お客様より指定・支給された材料の把握 (RoHS等)	○	RoHS等の材料の使用を 勧めています 材料証明書の一部保管

2) その他の活動の取組

- ・環境方針の変更はありません。
- ・環境組織図の変更はありません。
- ・設備等は8月に新たに機械を1台導入しました。使用していた別の2台を協力会社へ渡しています。
- ・火災訓練、教育訓練の計画は8月に行う予定でしたが、8月に機械の導入、新部品の注文が増えて計画通りの実施が出来ませんでした。H28年3月に実施しました。
- ・産業廃棄物管理票交付状況報告書は5月に都に送付しました。

3) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無について

- ・環境関連法に関する法律違反や環境に関する苦情等はありませんでした。

7. 環境関連法規制等の遵守の確認

環境関連法規制	内 容	確 認
下水道法	・下水排除基準	遵 守
廃棄物処理法	・産廃収集 ・マニフェストの管理	遵 守 遵 守
自動車Nox・PM法	・Nox・PM排出基準	遵 守
健康安全確保の環境条例	・アイドリングストップの実施	遵 守
家電リサイクル法	・特定家庭機器の再製品化	遵 守
自動車リサイクル法	・使用済自動車の再資源化	遵 守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出行政法)	・業務用エアコンの簡易点検	遵 守

代表者による評価と見直し結果

今回の評価結果

活動内容	活動目標	活動評価結果
1.環境目標の達成結果	電気使用量の削減 ガソリン使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減 都市ガス使用量の削減 水使用量の削減 廃棄物排出量の削減	未達成 達成 未達成 達成 未達成 達成
2.環境活動の評価	電気使用量の削減 ガソリン使用量の削減 二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減 廃棄物排出量の削減	8月に大型打抜機の導入に伴い、受注が増大し残業・休日出勤が増えてしまった 新車に切り替えた事と納品体制を週3回にすることが良く守られたため、削減する事が出来た 残業・休日等の稼働日が多くなったため、電気使用量が増えてしまった、但し売上原単価では削減出来た 節水活動を行っているが、実働時間が増えた事により達成まで至らなかった 受注が増えたが、材料端材の再利用等の活動の効果によって目標が達成出来た
3.環境関連法規制の遵守		法規制遵守への徹底が図られているため、問題なし。
4.外部からの環境に関する苦情等		特になし
5.その他の活動		環境方針、環境組織図の変更なし

代表者の指示内容

指示項目	代表者の指示内容
環境目標	電気使用量、水使用量の目標達成が出来ないため、次年度の目標の見直し検討をする事

2016年03月31日 代表取締役 北村健一